

# 第1節 現代社会の諸問題

2

## 資源・エネルギー問題①

- (1) 热源や動力になる石炭や石油といった化石燃料などを、何資源というか。
- (2) 化石燃料や鉱物資源は、埋蔵量に限りがあるのでいずれは枯渇する。このような資源。
- (3) 産出地域にかたよりがあるある資源。
- (4) 半導体の材料などに使われる稀少金属。
- (5) 1960年代に石炭から石油がエネルギー資源の中心になり、発電・自動車・暖房などの燃料、化学製品の原料などとして、広く使われるようになったこと。
- (6) 1970年代の石油危機をきっかけに、使われるようになった、天然ガスや原子力などのエネルギー。
- (7) エネルギーを安定的に供給でき発電時に二酸化炭素を排出しない反面、人体に有害な放射線を大量に発生させる発電方法。
- (8) ユラン鉱石の加工、核燃料としての使用、使用済み核燃料の再処理と再使用、廃棄までの一連の流れ。
- (9) 2011年の東日本大震災で地応落融(ろしんようゆう)が起きた発電所。
- (10) 発電時に二酸化炭素を排出しないエネルギー。太陽光、風力、波力、地熱、潮力、バイオマスなどがある。
- (11) 化石燃料に課税する炭素税など、環境悪化の原因となるものの排出や消費の抑制のために課す税。
- (12) 発電とともに蒸気や熱などを同時に利用すること。
- (13) 電気自動車や低公害車、燃料電池、蓄電池などの開発が行われており、それらの技術と再生可能エネルギーを組み合わせて、情報通信技術で効率的に運用する省エネ型の都市。